

第08 - 22号

2008.10.8

「小田急ロマンスカー・MSE」が、 国際デザインコンペ「ブルネル賞」と、「グッドデザイン賞」を受賞

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：大須賀 頼彦）のロマンスカー・MSE（60000形）が、2008年9月30日（火）鉄道関連の国際デザインコンペティションである「第10回ブルネル賞」において、「車両部門・奨励賞」を受賞しました。また、10月8日（水）には、「2008年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

今回受賞した「ブルネル賞」は、ヨーロッパの鉄道建築家やデザイナーの集まりであるワトフォード会議によって、1985年に創設された鉄道分野におけるデザインの国際コンペティションで、鉄道施設や車両等における美的品質を奨励し、環境や経済において重要な鉄道の役割をデザインや視覚、機能の面から一般に広く訴えることを目的に、数年おきに開催されています。

この「ブルネル賞」において、ロマンスカー・MSEは、「ビジネス特急、観光特急としての洗練された車両デザインとハイレベルな室内環境に加え、分割が可能な車両構造で、さまざまな運行ニーズにフレキシブルに対応できる柔軟性も兼ね備えている」点が高く評価され、受賞に至りました。

また、「グッドデザイン賞」については、ブルネル賞受賞理由と同様に「ビジネスと観光という多様な運行形態とユーザーニーズへの対応を可能にしたデザイン性」が高く評価されました。

なお、当社の車両が「グッドデザイン賞」を受賞したのは、ロマンスカー・VSE以来で、通算4度目となります。

今年3月に就役したロマンスカー・MSEは、地下鉄線内に乗り入れる初の全席指定制の特急用車両で、平日には大手町や霞ヶ関など都心に通うお客さまに上質な着席移動サービスを提供するビジネス特急として、また、土休日には北千住と箱根湯本を結ぶ観光特急として運行し、鮮やかなブルーの車体色も相まって、お客さまから大変ご好評をいただいています。

当社では、車両のデザインや機能・構造等において、今後も従来の枠にとらわれない柔軟な発想により、さらに上質で快適な輸送サービスを提供してまいります。



小田急ロマンスカー・MSE（60000形）

